



## ～ことばの発達を促すかかわり方～

「ことばかけをしているけれどことばが増えない」という相談を受けることがあります。生活や遊びの中でお子さんの体験にことばを添えることは、ことばの育ちに大切なかかわりです。

ことばかけをする時のポイントは「〇〇ちゃんのアンテナがどこに向いているかな」「今どんな気持ちかな」と大人が読みとってことばにすることです。お散歩で何かを見つけた時の視線、すべり台をすべり終えた瞬間の表情、そんなことばにならないことばを読み取ってことばかけを試みましょう。

大人に「わかってもらえた・受けとめてもらえた」という気持ちが、人に「伝えたい・話したい」という意欲につながるでしょう。

このようにことばは人とのかかわりの中で育っていきます。お子さんの大好きな遊び・笑顔がでる遊びは何でしょうか？おいかけっこ、くすぐり遊び、からだを使う大きな動きのある遊びなど、笑顔をたくさん交わせる遊びを増やしていくといいですね。そして「こんな楽しいことをしてくれるお母さん・お父さんが大好き」という気持ちを育てていきましょう。これも人に「伝えたい・話したい」という意欲につながります。

また、ことばを育てるための土台作りとして、生活リズムを整えることも大切です。しっかり目覚めた脳の状態で、大人の働きかけを受けとめる・新しい経験をする、そんな生活をお子さんのペースに合わせてながら作ってけるといいですね。